支援プログラム

事業所名　がまごおり・こどもデイサービス　　作成日：　令和　7 年　1 月　10 日

<table>
<tr><td>法人理念</td><td colspan="4">『確かな未来への道しるべ』

全面受容　：その子らしさを大切に
共　　感　：お子さんの気持ちによりそって
構 造 化　：わかりやすく
刺激の統制：工夫して
連　　携　：必要な人たちと手をとりあって

→相互変容：お互いに（お子さんもご家族も支援者も）成長していきます</td></tr>
<tr><td>支援方針</td><td colspan="4">・３才くらいから就学前までの発達に遅れや気がかりなところのあるお子さんが、保護者と離れて10人くらいの子どもたちのグループで過ごします。グループ活動を通して、トイレや食事などの生活習慣を身につけ、集団生活に向けた経験を積み重ねていきます。

・お子さん一人ひとりの成長に応じ、保護者と相談しながらコミュニケーションや身のまわりの生活目標を立て、子ども自身が「できた」「楽しい」と感じられるような支援を大切にしています。

・言語訓練のような専門的な相談や個別訓練も行っています。</td></tr>
<tr><td>営業時間

サービス
提供時間</td><td>営業時間
月～金曜日８：３０～１７：１５
土曜日　　９：００～１４：００
（月１回）

サービス提供時間
月～金曜日９：００～１５：００
土曜日　　９：００～１３：００</td><td>送迎実施の有無</td><td>なし</td><td>（あり）（　必要な方のみ　）</td></tr>
</table>

		支援内容
本人支援	健康・生活	・健康観察：毎朝および必要に応じて随時検温。目視等でお子さんの健康状態を随時確認します。 ・身体測定：毎月、成長を記録します。 ・食事・排泄・着脱等の現状を確認し、自分の身のまわりのことが自分でできるように目標を立て必要な支援を行います。
	運動・感覚	・日常生活や学習にのぞめる体つくり：朝の会、帰りの会、製作活動などの机上課題、言語訓練など ・感覚調整や運動の能力の向上：体操、サーキット、水遊び、手遊び、ふれあい遊びなど
	認知・行動	・わかること、できることを増やす活動：手先を使う遊び、体を使う遊び、季節の行事 集団あそび、製作活動、言語訓練など ・遊びや活動を通して集団生活のルールを学びます。
	言語 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	・まずは保護者からの聞き取りとお子さんの様子を観察して、要求・拒否などの現在行っているコミュニケーション方法（ことば、仕草、ジェスチャーなど）の確認をします。 ・遊びやかかわりなどのやりとりを通して、その時の状況や気持ちにあっているコミュニケーション方法を代弁したり、ジェスチャーを一緒にしたりして教えます。 ・月１回程度、個別の言語訓練を実施します。
	人間関係 社会性	・遊びや活動を通して、集団生活のルールや人とのやりとりを学びます。 ・まずは大人との信頼関係を育てます。 ・スタッフや子どもたちと一緒に遊んで楽しいという体験をつみます。
家族支援		・個別相談（定期的、随時） ・お話会 ・勉強会など
移行支援		・進路先や移行先を考える時、お子さんの成長や特性を確認しながら、保護者の方に情報提供を行い一緒に考えます。 ・保護者の方の了承を得て、移行先への情報提供を行います。
地域支援 地域連携		・保育園や幼稚園、他の児童発達支援事業所、小学校や特別支援学校、市役所や保健センター、病院等と連携をとり、お子さんの支援方法についてなど情報を共有し、支援にあたります。 ・相談支援専門員と連携をとり、情報を共有します。
主な行事等		・誕生会 ・各種行事（親子遠足、参観日、七夕会、クリスマス会、豆まき会、修了式・お別れ会など）
職員研修		・法人内研修（虐待防止研修、感染症対策研修、テーマ別研修など） ・スペシャルラーニングを用いたオンライン研修